

四国の産業観光資源

帝國製薬(株)第8工場（東かがわ市）

★施設・見学の概要

帝國製薬(株)は、東かがわ市で1848年（嘉永元年）に創業した老舗の医薬品メーカーで、主力製品であるパップ剤（不織布に薬剤を含んだ水溶性高分子（ジェル）を伸ばして成型した貼り薬、いわゆる湿布薬）の生産量で世界一を誇っている。同社の製品は8割以上が医療機関向けであり、一般向け商品とともに、自社開発したものを大手製薬会社の販路で流通するため、社名を目にすることは多くないかもしれないが、実は四国が誇るナンバーワン企業の一つである。

同社は年間約12億枚のパップ剤を生産しており、平成12年に竣工した第8工場は、その主力工場である。



パップ剤の生産拠点となっている第8工場

所在地	香川県東かがわ市三本松567
見学内容	パップ剤の製造工程
定員	約45人まで（団体に限る）
所要時間	約60分～120分
公開時間	10：00～16：00
休業日等	土・日・祝日、年末年始等
予約	要
料金	無料
予約/問合せ先	TEL：0879-25-2221 FAX：0879-24-1555 ※ 8：30～17：30予約受付
URL	http://www.teikoku.co.jp
アクセス	JR 三本松駅から車で約5分

（帝國製薬(株)総務部 法務・広報担当

課長 松村 充浩 氏）

一どのような施設を見学できますか。

まず、当社の概要や当社が作ってきたパップ剤の歴史、当日、第8工場で見学頂けない工程の概要などをDVD映像でご覧頂きます。その後、パップ剤を実際に生産している様子をご覧頂きます。

具体的には、「薬剤を含んだ水溶性高分子（ジェル）を不織布の上にのばす」、「それを定められた大きさに正確に裁断する」、「出来上がったパップ剤を袋や箱などに詰め包装する」といった工程を、それぞれガラス越しに見学して頂きます。いずれもオートメーションで行われており、特にベルトコンベア上を流れるパップ剤が包装されていく作業は必見です。

一御社の技術は欧米の医療当局にも注目されていると伺いましたが…。

帯状疱疹後神経痛向けのパップ剤が米国で初めて医療用として承認されるなど、当社がこれまで培ってきた、薬を皮膚から吸収させる「経皮吸収」技術が、欧米で注目を集めています。経皮吸収は注射や飲み薬に比べて、副作用や患者への負担が少ないこともあり、癌性疼痛や狭心症、喘息などの治療に応用されています。



当社製造の商品の一部